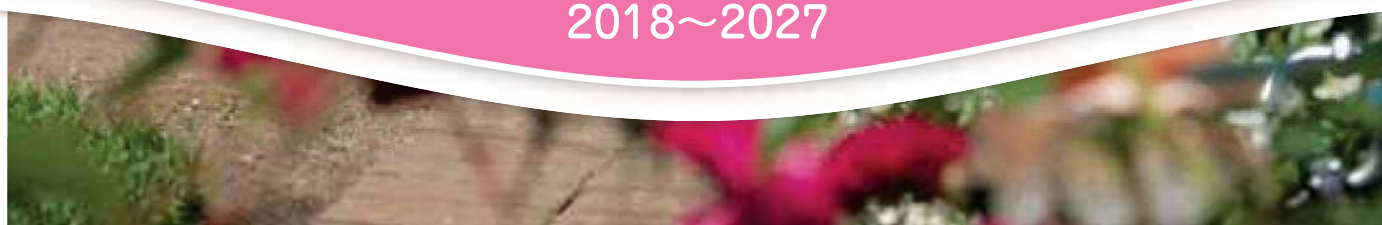




美しいまちで暮らそう  
えにわ  
花のまちづくりプラン  
2018~2027





# 「美しいまちで暮らす」

「自分のまちらしさ」とは何でしょう。

恵庭には、ここにしかない大地と光と風を糧に、

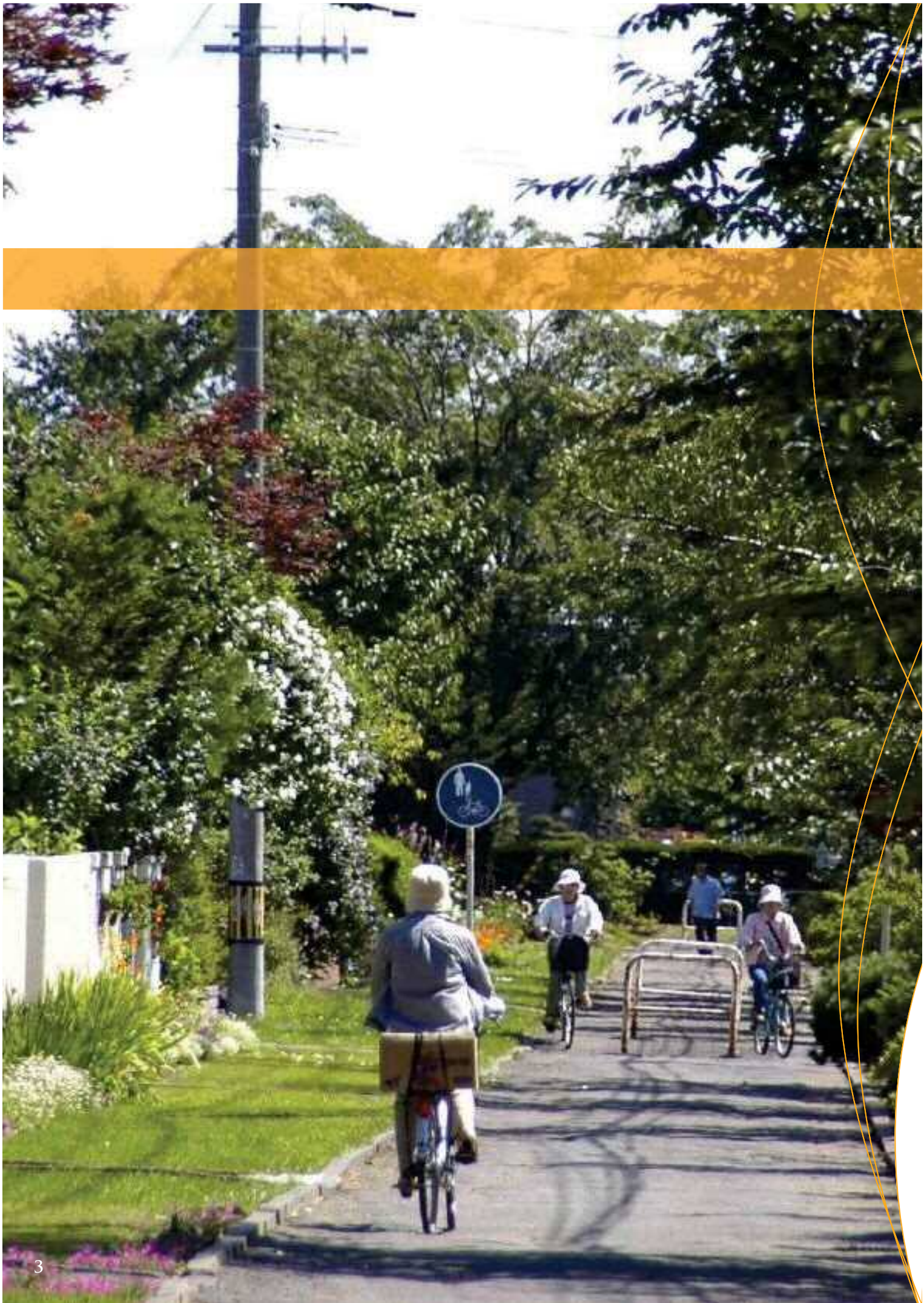
今日も花と緑に囲まれた人々の営みが、さまざまに練り広げられています。

これまでの取り組みをかえりみながら、

私たちがさらに私たちらしく生きていける未来を思い描いて、

「美しいまちで暮らす」というテーマが生まれました。





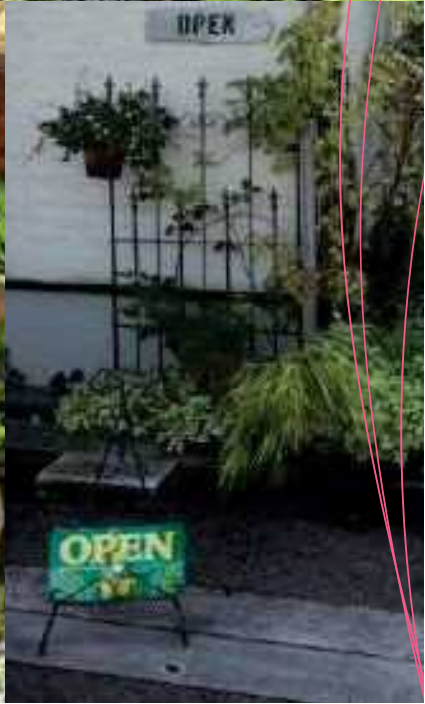


## 美しいまちとはどんなまちでしょう。

恵庭を花と緑いっぱいのまちにしよう。子どもたちのためにも、このまちをいつまでも愛着と誇りの持てるまちにしたい—。そんな思いを出発点に1980年代からはじまった私たちの取り組みは、1998(平成10)年3月、最初の「花のまちづくりプラン」の策定に実を結びました。2008(平成20)年の改定を経て、プランはいま、さらに新たなステージに上ろうとしています。

ガーデンづくりは、私たちにたくさんの気づきと学びをもたらしました。植物たちのおかげで恵庭の気候風土に敏感になり、花を通して、家族のあいだやご近所との関わりが深まりました。そして新しい出会いが生まれ、ひとつの出会いにはさらにまた、国内外から新しい出会いをもたらしました。花に惹かれて市外からも多くの人々が訪れ、地域経済の新たな種となりました。そしてそうした日々は私たちを、まちの成り立ちについてあらためて考えることにまで導いてくれました。毎日大切に手をかけるガーデンへの思いが、地域へ、通りへ、さらにはまち全体にも広がりはじめたのです。

花と緑によって、まちはさまざまな知恵や手法を身につけながら美しさを増していきました。しかしその取り組みがもたらしたのは、うわべの美しさの前に、さまざまな人が地域やまちに対して、自分の意志でより深く関わろうとする意識だったのかもしれない。美しさは、ものごとの外側を飾って生まれるものではありません。美しさは、心のありようと結びついています。多くの人が「住んで良かった」という気持ちをもっているまち。それが「美しいまち」なのだと思います。





## だから美しいまちを目指したい。

イギリスには、「農民は国土の庭師である」ということわざがあります。風土を知り尽くし、大地に働きかけて豊かな収穫を安定してあげる農業生産者は、大切な国土を保全するガーデナーでもある、という意味です。ご存知のように恵庭は、全道有数の花苗の生産地であり続けています。花と緑を軸にしたまちづくりは、この生産の基盤があってさらに価値を高めています。恵庭固有の風土を糧にした農業がつくる多様な景観は、他のどこでもない恵庭の大地に直結した表情が魅力です。まちの緑と農業環境を大きくひとつのつながりとして捉えることができるのも、恵庭ならではの個性と言えるでしょう。花のまちづくりは、市民と行政、そして農業生産者がそれぞれの立場と思いで協働することにより進められてきました。

世界にまったく同じ畑がひとつとして存在しないように、同じまちもないはずですが、しかし、規模と効率を最優先する経済の論理によって、全国で同じようなまち並みが増え続けているのも事実でしょう。そこでの人々は、単にモノを消費するだけの、顔のない消費者になってしまっています。

美しいまちには、何より独自の個性と文化があります。自分たちの生活スタイルに誇りをもつことができれば、住む人々の表情もいきいきと輝くはずですが、自分たちのまちは、自分たちの手でつくり、育む—。花と緑の取り組みによってそうした意識を強く持つようになった私たちは、新たな「えにわ花のまちづくりプラン」によって、このまちをさらに美しくしていきたいと願っています。



えにわ花のまちづくりプラン NEXT STAGE

## 「プランの目標」

### 美しいまちで暮らそう。

美しいまちは、限られた専門家が一方的に提案する大きな計画がもたらすものではありません。それは、自発的な地域コミュニティが相互に影響しあうことで、暮らしの足元から生まれていきます。市民・行政・団体・企業が花と緑にあふれた美しい環境のあり方を議論し、協働で育むことで、人々がつながりあい触発しあう、次代に引き渡すに値する個性的なまちがつくられていきます。「花のまちづくり」を通して、まちの個性が持続的に磨かれ、それぞれのコミュニティに強くしなやかな命が通います。そこで人々は、世代を引き継ぎながら末長く心豊かに暮らすことができます。

#### 「花のまちづくりの近未来」

まちには、花と緑にあふれた公共施設やショップや歩道があります。人々は季節を追ってガーデンを味わいながら、買い物やおしゃべりの時間をゆったりと楽しみます。まち並みと一体となった公園の緑陰では、幅広い世代が思い思いにくつろいでいます。そして「花のまち」は、なにより歩くことが楽しいまち。ここには、規模や効率を求めるばかりのまちとはちがう時間が流れて、行き交う人々の笑顔がすてきです。多くの人々が移り住みたいと願うまち。それが近未来の恵庭です—。

「えにわ花のまちづくりプラン NEXT STAGE」は、そんな花のまちづくりの将来像を目標として掲げます。

#### プランの性格

えにわ花のまちづくりプランは、「市民の願いを集約し形にしたもの」であり、平成30年度から今後10年間の花のまちづくりを目指す行動指針です。絶対でもなく、強制でもない、できることから市民・行政・団体・企業それぞれの立場で行動していくことが重要であることから、計画の期日を定めないこととしています。「恵庭花のまちづくり推進会議」では、プランの推進を図るため、適宜進捗管理と検証を行います。





【プランの目標】	【二つのテーマ】	【目指す形】
<p style="text-align: center;">美しいまちで暮らそう。</p> <p>市民・行政・団体・企業が 花と緑を生かした環境を作りながら 人をつなぎ、豊かな心を育むことで このまちに暮らす人々が 幸せな時間を過ごすことを目指します。</p>	<p style="text-align: center;">美しい環境がある</p>	"公共施設は市民の憩いの場"
		"街路を美しく、自然環境を保全する"
		"花のまちづくりの拠点がある"
		"すべての人にやさしい花のまち"
	<p style="text-align: center;">美しい人々がいる</p>	"市民が花と緑に親しんでいる"
		"花と緑を通じた交流がさかん"
		"市民に花のまちを 目指すことが浸透している"
		"花と緑に詳しい人がいる"
		"ボランティア活動が活発"

## 【行うこと】

保育園・幼稚園・学校などに個性的な花環境をつくり、地域のガーデンと結んでいく

まち並みと一体となった公園を整備する

まちの玄関口を花で彩る

美しいガーデンを整備する

花と緑に囲まれたショップや飲食店、オフィスを整備する

緑豊かなまちの骨格として街路樹・植樹柵を育む

農村景観や防風林の価値と魅力を共有する

地球に優しい花と緑の循環サイクルをつくる

花のまちづくりの拠点をつくる

花や緑に関する情報を常にいきいきと発信する

ユニバーサルデザインのガーデンを整備する

子どもたちが花と緑に親しむ環境をつくる

花と緑で健康づくりを進める

花や緑を通じて世代間の交流を図る

誰もが安心して暮らすことができる環境を整える

オープンガーデンを基盤のひとつにまちづくりを進める

市民・団体・企業への意識啓発を実施する

花に関する支援などの充実を図る

花と緑に関する意見交流の場をつくる

花を通じた社会マナーの向上を図る

花と緑の人材育成を図る

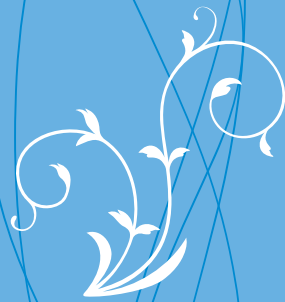
生産者と市民を結ぶ

花団体を紹介する

ボランティア活動を推進する

次世代を育成する

美しい環境がある



## 公共施設は市民の憩いの場

### 保育園・幼稚園・学校などに個性的な花環境をつくり、地域のガーデンと結んでいく

まち並みと一体になりながら地域の特徴を生かした花のある環境を、教育の現場で実現させます。花を植えるだけでなく花を育て、五感を使って花と緑に触れられるよう、子どもたちや指導者、保護者や地域の市民が協働でそれらを維持していきます。

### まち並みと一体となった公園を整備する

公園花壇をさらに充実させながら、まち並み全体と自然に一体化したパブリックガーデン群を整備。緑空間のデザインとベンチのレイアウトなどを洗練させます。人々が集い花々や自然に触れる機会を拡張しながら、コミュニティの核となる場をつくります。おしゃべりや読書が楽しめるカフェを公園に設けることも有効です。

### まちの玄関口を花で彩る

JRの各駅や国道、高速道路ICなどまちの玄関口を花で飾り、おもてなしの気持ちを含めて「ウエルカムゾーン」を形成して、花のまちを印象づけます。

### 美しいガーデンを整備する

公共施設では、花のまちにふさわしいガーデンづくりを目指します。市民協働でコミュニティガーデンがつくられ、持続的に維持・管理されていきます。また、まち並みと緑の一体感を醸成するために、スポーツ施設や公共駐車場の緑化を進めます。

#### 【取り組み例】



花育 松恵小学校6年生



恵み野中央公園のアナベル



恵庭岳公園線  
中央分離帯の花植え



めぐみの丘(フレスポ恵み野)



JR恵み野駅東口

## 街路を美しく、自然環境を保全する

### 花と緑に囲まれたショップや飲食店、オフィスを整備する

ショップの店先やオフィスを花と緑で彩り、来店者や従業員にうるおいを提供します。まちとの一体感を演出するデザインのガイドラインを市民・行政・団体・企業の協働で作ります。

### 緑豊かなまちの骨格として街路樹・植樹樹を育む

美しい街路樹は緑の骨格であり、まちの豊かさを表します。そのため季節ごとに魅力のある街路や植樹樹を保つために、適切な除草や宿根草・低木などの活用を進めます。また関係機関・団体と連携して、街路樹を美しく保つ意味や価値と一緒に学び、啓発にも取り組みます。

### 農村景観や防風林の価値と魅力を共有する

恵庭の風土によって成り立つ農業と花と緑のまちづくりとの関わりを尊重しながら、ほ場や牧場、防風林等とまち並みの調和を図ります。また、まちの歴史を見守ってきた大木等や市の花スズランを保全・紹介します。

### 地球に優しい花と緑の循環サイクルをつくる

花や緑を通して環境への負荷が少ない循環サイクルを構築します。落ち葉で腐葉土をつくり、枯れた花を土に混ぜ込み肥料にするなど、資源の再利用や環境への対策を進めます。

【取り組み例】



漁町商店街



農村風景



落ち葉の腐葉土化



イチョウの街路樹(恵み野団地中央通)



恵み野やすらぎストリート

## 花のまちづくりの拠点がある

### 花のまちづくりの拠点をつくる

花に惹かれて沢山の人々が気軽に訪れ、ガーデニングに関する様々な情報に触れ、体験イベント等に参加できる楽しい場所をつくります。またそこは観光拠点でもあり、ガーデニングやまちづくりに関わる人が集い活動する拠点ともなります。花のまちづくりに関する知識や経験が豊富な人と、市民や市外からの来場者が触れ合い、つながることができる場です。

### 花や緑に関する情報を常にいきいきと発信する

花と緑をめぐる多様な情報を編集・発信して、市民や観光客、市内外のガーデン愛好家など幅広い層に向けて、花のまちづくりを広めていきます。

【取り組み例】



道と川の駅  
花ロードえにわ



恵み野花MAP



花の拠点(平成32年完成予定)イメージ  
ニュージーランド ティマル



花の拠点(平成32年完成予定)広場のイメージ

## すべての人にやさしい花のまち

### ユニバーサルデザインのガーデンを整備する

車いすで見学できることはもとより、花を植えたり管理作業まで車いすでできる等、ユニバーサルデザインのガーデンをつくります。障がいのある人がさまざまな人々と協働作業を行うなど、すべての人が花と緑を通じて自分のまちに関わることができる、多様なコミュニケーションを実現させます。

美しい人々がいるお

A decorative graphic featuring a stylized bird perched on a branch with floral motifs, positioned below the text.



# 市民が花と緑に親しんでいる

## 子どもたちが花と緑に親しむ環境をつくる

遊びながら学びながら、子どもたちが幼少時から「花と緑に囲まれた恵庭」を体験的に受け入れて、まちへの愛情や誇り(シビックプライド)を醸成させる環境をつくれます。

## 花と緑で健康づくりを進める

ガーデニングによる心身の健康づくりを啓蒙します。恵庭の四季や大地、そして共に活動する仲間と交わることで、心身の輝きや回復を目指すことができます。

えにわ花ウォーク

【取り組み例】



緑の少年団  
松恵小学校



親子で植栽  
JR恵み野駅西口植樹帯



いこいの花畑  
道と川の駅花ロードえにわ



# 花と緑を通じた交流がさかん

## 花や緑を通じて世代間の交流を図る

老人クラブと保育園や幼稚園、学校などが合同で植栽や手入れなどを実施します。子どもや若い親世代、そして高齢者と多世代の交流が自然に進む仕組みをつくります。

## 誰もが安心して暮らすことができる環境を整える

庭の手入れや地域での活動を通して日々の交流が生まれ、地域コミュニティが活気づきます。その時間が、多様で強い地域社会を成熟させます。家族を核にした地域の人々のコミュニティの広がりを、感じられる環境を整えます。

## オープンガーデンを基盤のひとつにまちづくりを進める

自宅の庭を一定期間開放することにより、市内外の人々と花と緑を通じて交流を図ります。またオープンガーデンは、恵庭らしさを形づくる重要な場のひとつです。そのために恵庭らしい将来のオープンガーデンのあり方を、ガーデナーや地域の人々との自由な話し合いを通して方向づけしていく場をつくります。

【取り組み例】



緑を通じた交流  
こすもす保育園と相楽会



お庭での交流



めぐみの庭めぐり



# 市民に花のまちを目指すことが浸透している

## 市民・団体・企業への意識啓発を実施する

花のまちの理念を伝え広めるために啓発紙（花はな通信など）を発行して、講演会などを開催します。啓発紙では、市民・団体・企業の花のまちに携わる多彩な活動を広めていきます。

## 花に関する支援などの充実を図る

植栽や植樹に関しての助成制度や花苗の販売斡旋に関する情報を紹介するとともに充実を図り、市民が花に関われるよう支援します。また、庭のお手入れ協力隊のような仕組みづくりも目指します。

## 花と緑に関する意見交流の場をつくる

ノウハウの共有や技術の研鑽、さらには花のまちづくりの議論まで、さまざまな意見が交わされる場をつくります。

## 花を通した社会マナーの向上を図る

花が咲く場所にゴミを捨てない。花と緑の中にゴミがあれば心が痛んですぐ拾う。そんなマナーを当たり前のこととして暮らす人々を尊重します。注意看板を立てる必要のない街路やガーデンの整備を目指します。

【取り組み例】



花はな通信



花いっぱい文化協会  
会員募集広告



花と緑のまちづくり講演会



恵み野駅前通り 街路樹柵、植樹柵の植栽



ガーデナー交流会

# 花と緑に詳しい人がいる

## 花と緑の人材育成を図る

初心者からエキスパートまで、花と緑を学びたいと願う人々の期待に応える場を整えます。また、これまでの歩みを踏まえて、自分が得た情報やノウハウの共有を惜しまない、花のコンシェルジュと呼べる人々を育て、活躍の場を設けます。

## 生産者と市民を結ぶ

花苗生産者と市民が身近に接して、互いに刺激を受ける機会や環境を整えます。

## 花団体を紹介する

市民などからの問い合わせや相談などに応えられるように花団体を紹介する仕組みをつくります。

【取り組み例】



花ガイド 勉強会



フラワーマスターの勉強会



花団体の紹介  
花はな通信



生産者による花の講習会



花いっぱい文化協会による  
寄せ植え講習会

# ボランティア活動が活発

## ボランティア活動を推進する

花と緑に関するボランティア活動を把握し、その取り組みを紹介することで、コミュニティづくりを進め、ボランティア活動の推進を図ります。

## 次世代を育成する

花と緑がかなえる世代間の交流やまちの活気を愛する、「花と緑のまち」の基盤になる人々を、市民・行政・団体・企業の協働によって継続的に育みます。

植栽活動 JR恵み野駅西口ロータリー  
北海道ハイテクノロジー専門学校留学生との協働

### 【取り組み例】



植栽活動  
市民・行政・団体・企業の協働  
JR島松駅ロータリー



植栽活動  
市民・行政・団体・企業の協働  
JR恵み野駅東口ロータリー



植栽活動  
黄金フラワーロード  
恵明中学校



# 風景の ぶ厚い構造こそが 恵庭の魅力。



2017年 花と緑のまちづくり講演会講師

(株)愛植物設計事務所

山本 紀久氏 

◎YAMAMOTO Norihisa

造園家、ランドスケープデザイナー。(株)愛植物設計事務所会長。東京ディズニーランド、八景島シーパラダイス(横浜市)、海洋博公園熱帯ドリームセンター(沖縄県)などの植栽設計に携わったほか、北海道では滝野すずらん公園(札幌)の土地利用計画を提案。著書に『街路樹』(技報堂出版)、『造園植栽術』(彰国社)など。

個性やボリュームの差はあるものの、どんな都市にも緑があります。人がおおぜい集まって暮らすところには緑が必要だからです。太古から、衣食住にともなうものの大部分は植物に由来してきました。人間は緑なしには生きられません。それは大都市ではおのずと不足します。ですから都市の人はときどき郊外に出かけたり、観光で自然を楽しむのです。湯布院(大分県)や小布施(長野県)など、緑と一体になって高い文化のあるコンパクトなまちは、都市に暮らす人々のあこがれです。ふたつのまちは、借り物ではない自前の資源や方法で、私たちがこれからこうありたいと願う暮らしを先取りしていると思います。名前も良い。そして名前といえば恵庭も、実にすばらしい名前だと思います。

恵庭が特に素晴らしいのは、まちなわりに日本の自然風景の7つの要素である、「山岳」「森林」「湖沼」「滝」「渓谷」「高原」「海」のうち「海」を除くすべてが揃っていることです。こんなまちはそうはありません。恵庭の魅力の第一はまず、まちを取り囲む自然だと思います。そして市街地に至るあいだに、農地や牧場、防風林といった、見事な田園空間が広がる。これは見世物ではない、大地に根ざした本物の営みです。さらに河畔林や農地、防風林の緑は、さまざまな生きものたちが行き交う道でもある。恵庭でカワセミに出会うと僕は感動しますが、地元の方には珍しくもないようです(笑)。また、北海道ではそこらじゅうにありふれた雑草だと思われるノラニンジン(ワイルドキャロット)なども、関東以南の園芸ファンにすればぜひ植えてみたい花なのです。その土地に固有のものは、よそからわざわざ訪れてみたい観光資源になります。皆さん理屈ではわかるでしょうが、そのことを本当に実感してほしいと思うのです。

国立公園に位置する恵庭岳につらなる大自然と、まちなりに近づくくと現れる農業景観。そして市街に入るとよく手入れされた花と緑がある。これが恵庭です。市街で重要なのは、緑の骨格ともいべき街路樹です。質の高い剪定がなされた街路樹がしっかりと連続しているまちであれば、それだけで美しい品格をまとうでしょう。恵庭にはこのように重層な風景の構造があります。電車でも車でも、恵庭に来たり通過する人々にこうした奥の深い風景の印象を伝えていくことは、まちの個性を高めるのに有効だと思います。恵庭といえば、各家庭の質の高いオープンガーデンというイメージが強いかもしれませんが、しかし私は、たくさんのガーデンとその外に広がる緑の環境全体の融和こそが、恵庭らしさだと思います。札幌から電車でわずか20数分の土地で、こうした個性的な文化をさらにていねいに育てていけたら、恵庭は他のどこにもない豊かなまちになると確信しています。

# 「花と緑」は、 たくさんの人を 結びます。



2016年 花と緑のまちづくり講演会講師

NPO法人 Green Works 代表

牧野 ふみよ氏



©MAKINO Fumiyo

NPO法人 Green Works 代表。代々木公園ガーデンニングクラブ代表。NPO 法人大田・花とみどりのまちづくり事務局長。花と緑を愛する市民の立場で、各地のガーデンとの関わりを深め、花と緑をめぐる行政や市民、企業をむすぶ活動に取り組む。企業の緑の社会貢献事業のサポートや公園ボランティアスタッフ育成にも活躍している。

16年ほど前、都立代々木公園（渋谷区）という大きな公園で、東京都が整備した広大な面積の花壇の手入れを手伝ってほしいと呼びかけられ、園芸仲間と活動の団体を立ち上げました。当時はまだこうしたボランティアが珍しく、「こんな有名な公園で、私たちが土を掘ってもいいのかしら？」と思ったものです。この活動は、今でも細々と続けています。翌年、地元駅前の花壇やプランターの手入れを有償ボランティアで行うNPOを立ち上げる機会を得ました。自分が暮らすまちでの活動は、成果が身近に感じられてやりがいを覚えました。その後、日比谷公園（千代田区）で企業が地域貢献として取り組む花壇活動のサポートなど活動の場は広がり、私たちは「花や緑の活動を通してまちの課題を解決する」ことが、社会に必要な仕組みの一部になりつつあることを実感するようになります。市民協働という言葉が使われ始め、そこから恵庭をはじめいろいろなまちとの出会いがありました。行政や企業とボランティアグループをつなぐ「緑の中間支援」の役割も担うようになり、花と緑への取り組みを通して地域の人と人を結んだり、日常の暮らしを豊かにしたりする私たちの活動が「コミュニティガーデン」と呼ばれることも、いわば後付けで学びました。

恵庭の皆さんとのお付き合いがはじまってから、すでに10年以上が過ぎました。北海道にオープンガーデンを訪ねはじめたころ、何より宿根草が自然にあるべき姿で育っている！ことに感動しました。猛暑の東京では、夏を越せなくて消えていく品種が多いのです。旭川方面のオープンガーデンを訪ねたとき、もちろんすばらしくて憧れるのですが、規模が大きすぎて自分たちの参考にはならないなあ、とため息が出ました。その点恵庭のガーデンは、規模が比較的身近で、バラエティも豊か。何度訪れても多くの刺激を受けます。皆さん家族で力を合わせているようすをお聞きして、きびしく長い冬があるぶん、春からの集中力がすごいんだなあ、とも感じました。

いま私たちは、「こんなまちに暮らしたい」というテーマで、大田区の行政や環境活動団体のみなさんと毎年シンポジウムを開催しています。川の環境や野鳥、食用油リサイクル、段ボール堆肥づくりから郷土史など、とても幅広い分野に取り組む団体が協力し合っています。はじめは「花の活動が環境活動？」という思いもありました。でも色々な環境テーマに「花と緑」が緩やかに関わっていて、地域を良くしたいと願う幅広い分野の人たちをうまく結び合わせることができていることに気づいて、活動の意味や価値がさらに深まったと感じました。「花のまちづくり」に参画する恵庭の皆さんも、その思いはきっと同じだと思います。



恵庭花のまちづくり推進会議  
恵庭市

えにわ花のまちづくりプラン

策定：平成 10 年3月(テーマ：花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭)

改定：平成 20 年3月(テーマ：花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭)

改定：平成 30 年3月(テーマ：美しいまちで暮らそう)

問合せ

恵庭市役所経済部花と緑・観光課

061-1498 恵庭市京町 1 番地

TEL : 0123-33-3131 FAX:0123-33-3137

e-mail:hanatomidori@city.eniwa.hokkaido.jp